

平成22年度 学校自己評価システムシート 日高市立武蔵台中学校

目指す学校像	知・徳・体の調和のとれた人づくりを推進する学校
重点目標	(1)学力の向上 (2)心豊かな生徒の育成 (3)健康・体力、安全指導の充実 (4)心身の発達に応じた指導 (5)施設、設備の活用 (6)家庭・地域・関係機関との連携強化
達成度	A：そのとおりである B：だいたいそうである C：やや努力不足だと思う D：もっと努力してほしい

学校自己評価				学校関係者評価		
22年度目標				22年度評価 (1月20日現在)		
評価項目	具体的方策	評価指標 (職：教職員 保：保護者)	A B C D	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
○基礎学力の定着・向上を目指した取組	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の指導 わかる授業の工夫 補充学習の実施 研究授業の実施 適切な評価の研修 	1. 職 主体的に学ぶ学習習慣が身に付くよう指導している	17 75 8	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な資料を基に課題を明らかにし、指導の工夫を行った。 毎週、計算の補充学習を実施した。 全員が研究授業を行い、活用力の育成に努めた。 評価の研修を通して共通理解を深め、適切な評価に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちはよく授業に取り組み、成果も上がっているが、学力に差がある。学校研究を通して生徒の主体性を引き出す工夫に努めなければならない。 基礎基本を活用し、思考力や判断力など質の高い学力を身に付けさせることが課題である。 評価・評定についての研修は、これからも継続して行い、全職員の共通理解を図る必要がある。
		保 子どもは、家庭学習によく取り組んでいる	22 42 29 8			
		2. 職 わかりやすい授業と繰り返しの指導の工夫を行っている	58 42			
		保 子どもは楽しそうに授業に取り組んでいる	17 66 15 2			
		3. 職 普段の授業や通知票の評価について納得させる説明ができる	82 18			
		保 通知票等の評価は、学習へ取り組むための指標になっている	27 62 9 2			
○社会性や人間性の育成への取組	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の指導の充実 道徳教育の充実 学校行事の充実 教育相談の充実と生徒理解を深める実践 生徒会活動の活性化 	4. 職 あいさつや言葉遣いの指導によく取り組んでいる	67 33	<ul style="list-style-type: none"> 授業をはじめ学校生活の中で、あいさつや言葉遣いの指導に努めた。 生徒が主体的に活動する生徒会活動を目指し、活動の充実を図った。 生活状況やいじめのアンケートなどを行い、生徒の実態把握に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや言葉遣いについては保護者アンケートの結果も年々よくなっていると思います。その影響を受けて、生徒が落ち着いた生活を送れているのだろうと思います。行事にも真面目に取り組む、充実しているようです。 困っている方にすぐに手をさしのべるなど、他人のために尽くす思いやりの心と正しい判断で行動できる生徒に育てていると思います。
		保 子どもは、よくあいさつができ、言葉遣いもていねいである	16 59 22 2			
		5. 職 規律を守った上で学級や学校が楽しい場所となるように指導している	83 17			
		保 子どもは、楽しそうに学校へ行っている	42 47 7 4			
		6. 職 生徒理解に努め、生徒の相談に適切に応じている	58 33 8			
		保 先生は子どもを理解し、適切に相談に応じてくれる	33 53 13 1			
○開かれた学校づくりの取組	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携の強化 授業参観・保護者会の充実 学校の教育活動の周知 	7. 職 欠席の時だけでなく、日頃から家庭への連絡を行い、積極的な意志疎通に努めている	25 50 25	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子について、家庭との連絡に努めた。 学校便りの地域回覧やホームページを通して、日頃の教育活動の紹介に努めた。 音楽会では参加いただいた方へのアンケートを行い、次年度への改善の資料とした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 全クラスが学級通信を発行しており、家庭との連絡も密にとっている。今後も情報提供に努め、学年主任を中心に組織的に対応していく必要がある。 ホームページのレイアウト等を見直し、わかりやすく充実した内容にしていく。 保護者会や学校行事の見直しでは、学校の様子を知っていただくという視点も取り入れて進める。
		保 学校から必要に応じて、適宜連絡がしてもらっている	32 56 10 1			
		8. 職 保護者に対して、教育方針や学校・学級の様子を分かりやすく伝えている	42 58			
		保 学校は教育方針や学校・学級の様子を分かりやすく伝えている	29 59 9 3			
		9. 職 授業参観や保護者会を工夫し充実するよう努めている	58 25 17			
		保 授業参観や保護者会が子ども理解に役立っている	32 57 10 1			
○学校の環境美化に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境の整備 清掃指導の充実 花いっぱい運動の実施 	10. 職 清掃指導や花いっぱい運動など学習環境づくりによく取り組んでいる	58 42	<ul style="list-style-type: none"> 季節毎に学年で花植えをし、水やりなど管理を続けることで、学校環境の美化への意識を高めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 花を植えた後の水やりや手入れも、生徒たちがしっかりできるなど、生徒の主体的な活動の充実が見られた。 清掃においても自らの手で美しい環境を整えていく態度の育成を続ける必要がある。
		保 学校は清掃がされ、花もいっぱいよい学習環境である	48 49 2 1			
学校関係者評価委員の意見等						